

私はスリランカ国訪問研修を通して、たくさんの方のことを五感で感じることができました。私はスリランカについての知識が未熟だったり、スケジュールが把握できていなかったりと正直準備不足なところが多くとても不安な状態で当日を迎えました。そのせいもあってかコロンボ空港を出て初めてのスリランカの第一印象は「怖い」でした。着いた時は夜であちこちでクラクションが鳴り響いていたせいかもしれません。海外は初めてではありませんでしたが、アジア圏は初めてで、今まで感じたことのない環境でした。1日目は長いフライト、時差、環境の変化で1日を長く感じとても疲れました。

2日目はまず日本語学校の JSS 東京アカデミーにて生徒さんたちとの交流会を行いました。お互いに自己紹介をしたり、茶道を体験してもらったりする中、一番盛り上がったのは後半に行った自由交流の時間だったと思います。写真を撮りあったりお話ししたり、とても盛り上がりました。また、生徒さんの日本に対する憧れや将来に対する具体的な夢などを聞いて自分も見習うべきことがたくさんあるなど感じました。ここでの交流の後、ローカルのバス、電車に乗り伝統的な町キャンディに向かいました。キャンディは標高の高いところにあり少しだけ暑さを忘れることができました。

3日目は仏舎利寺にお参りに行きました。日本は宗教を持たない国でもあると思うのでお参りに来ている現地の方の姿が新鮮でした。日本の寺院との共通点もありましたが相違も多かったと思います。ほとんどの人が白を基調とした服を着ていたり、寺内は土足厳禁だったり、装飾が日本より少し派手だったりと驚きの光景が広がっていました。次に紅茶の町ヌワラエリヤに向かいました。紅茶畑は標高の高い山の斜面一面に広がって日本の茶畑とは少し違うような印象を受けました。紅茶園の見学では紅茶ができるまでの工程が見れたり歴史を知れたり紅茶の香りとともに学ぶことができました。紅茶を飲みながらちょっとした休憩をした後コロンボに向かう途中象の孤児院に寄りました。1カ所にこんなに大量の象がいるのを見たのは初めてで葉っぱを器用に食べている姿を見てとても癒されました。牙が生えている象も見ることができました。象の大きさ、頭数、さらにはミルクを飲む速さには圧倒されました。

4日目は一番準備に力を注ぎ、緊張した女子一貫校での交流会が行われました。私たちは歓迎される側ではありましたが、ジュニア会議、龍ヶ崎市、日本の代表でもあったので、少しでも日本に興味を持ってもらい何かしら伝えられたらなという面持ちで参加しました。私は妹と共にきれいに装飾されたステージで日本舞踊を披露しました。お稽古でいつもうまくいかないところがあったので本番はとても緊張しましたが無事に踊りきることができました。また、盆踊りですごく盛り上がることで嬉しかったです。少し残念に思ったこととしては、本来行う予定だった質疑応答が時間の都合上できなかつたことです。貴重な意見が出ると思うので何かしらの方法で意見交換ができればいいなと思います。大盛況で終わった交流会の後は、ボートサファリを楽しみながら孤児院施設へ向かいました。向かう途中に間近でマングローブを見ることができ、感動しました。孤児院につくと見習いの小僧さんたちにお祈りをしてもらい、施設を見学しました。自然豊かなところでした。施設の子供たちが日本から持ってきたおもちゃで遊んでいる姿や笑顔を見て他にも自分たちが力になれることがあるのではと考えさせられました。また、この子たちにとって一番の喜びは私たちが訪問したことにあるのだとも感じました。

最終日はきれいなインド洋のビーチに行きました。日本の近とは違いつても透き通っていてビーチサイドからもたくさんのお魚を見ることができました。その後、スーパーなどでお買い物を済ませ、飛行機に乗り込み無事帰国することができました。

私はこの研修を通してスリランカの良いところを発見し、日本の良さを再確認することができました。ここには書ききれないこともまだまだたくさんあるので、それらはたくさんの方々に発信して共有していくべきだと思います。現地ですぐに共に行動し案内をしてくださったガイドさんの知識の量、日本語の流暢さに驚いたり、日本のおもてなし精神を改めて誇りに思ったり毎日がとても楽しく充実していました。また、日本にいるときよりも積極的に行動することができ、いつもは避けがちな人との交流も久しぶりに楽しく感じ自然体な自分で過ごすことができ嬉しかったです。しかし、私は世界中の人々と簡単につながることで LINE や Facebook などの SNS を利用していないためご縁がその時々で終わってしまうのが残念で仕方ありません。この問題については、日本にいても同じことだと思うので何かしらの方法がないか模索していきたいです。

今回の研修は大人の方々のサポートにたくさん助けられましたし、このサポートがなければ実現しなかつたことだと思います。しかし、正直なところ数年後は今回の大人メンバーには限界があるようにも感じました。なのでこれからは私たちがこのような機会を与える側になり、もっと国際交流を発展させていきたいと思いました。私は今、進路を決める大事な時期に差し掛かっています。今回感じたこと、経験を活かすと共に、何らかの形で人と人、国と国をつなぐ架け橋になれるような大人を目指していきたいです。

最後に、私たちに貴重な経験をさせてくださりありがとうございました。